

令和5年度 笠間市社会教育委員会議会議録

日 時 令和5年5月25日(木)
午後1時55分 開会
午後3時34分 閉会

場 所 笠間市役所 議会/行政棟2-6 会議室

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 議長あいさつ
- 4 報告及び協議事項
(1) 令和4年度事業報告について
(2) 令和5年度事業計画について
- 5 その他
- 6 閉 会

出席委員 8名
欠席委員 0名
傍聴者 0名
事務局員 6名

司会 事務局
進行 議長

- 4 報告及び協議事項
(1) 令和4年度事業報告について

事務局 : 令和4年度事業報告(社会教育グループ・文化振興室)説明

委 員 : 公営住宅入居者学習支援事業は、以前より行っていたのか。福原地区だけで行っているのか、笠間市の子どもたちが誰でも参加できるのか。

事務局 : この事業は、県営福原住宅の入居者をもっと増やすことを目的に始まった事業であり、福原住宅に入居すれば安いお金でこのような学習支援が受けられるのでどんどん福原住宅に入ってくださいといったようなもの。しかしなかなか効果がない。

委員 : 現在県営福原住宅の入居者は何%程度か

事務局 : 4割程度しか入居者がいない状況

委員 : この事業は、しばらく継続する見込みはあるのか

事務局 : 効果がないので検討中です。

委員 : ボツになる可能性があるんですね。これは県営ですよ。

事務局 : 県営住宅です。管理課が担当で、管理課の発案で始まった事業。

(2) 令和5年度事業計画について

委員 : 二十歳の集い事業は、どのような方法で二十歳になる人を選んでいるのか。また、いつからこの事業は始まるのか。

富田家住宅保存活用事業は、現在、青写真がどのくらいどこまでできているのか。

バス、トイレの場所はどこになるのか。現在の状況を教えてほしい。

事務局 : 二十歳の集い事業は、現在実行委員の募集を実施している。5月18日号の週報、6月号の市報で実行委員を6月末まで募集し、7月頃から実行委員会を開始し毎月1回程度委員会開催、二十歳の集いの企画を行う。市も随時アドバイスを行う。

委員 : 実行委員の定数は決まっているのか。毎年決まるのか。

事務局 : 10人程度。昨年度は13人だった。

事務局 : 富田家住宅の状況については、昨年度、所有権を移動し笠間市の所有となっている。住宅のどの部分にバス・トイレを設置するか。既存の部分を主に改修する。

委員 : 敷地内に建っている小屋を壊してそこに駐車場を作るのか。それとも別の場所に作るのか。

事務局 : 小屋はそのままで、前の畑を駐車場にする。

委 員 : 駐車台数は少ないね。バスは入れるか。

事務局 : 進入道路が狭いため、バスは入れません。

委 員 : 前の広い通りに止めて、見学に行くようになるのか。
また、工事はいつからか。

事務局 : バスについては、そのとおりです。
工事は、まもなく整備していきます。まずは、団体に泊ってもらい、そのために、一般住宅用の風呂とトイレ2つと駐車場は暫定的にジャリの駐車場で、車が5～6台止まれる程度で作り、活用の方向性が決まれば、敷地内の小さな建物を壊したりと、お金をかけていく予定。
母屋の中のトイレは昔のトイレで、歴史的なものなのでそのまま残す。タイル張りのお風呂も、業者より現在はもう手に入らないタイルとの話があったためそのまま残す。台所の裏に風呂、トイレを作り、なるべく今の現況を変えないように作る。床がだいぶ傷んでいるため改修する。

委 員 : 笠間城跡ツアーの実施は初めてなのか。

事務局 : しばらく前には行ったことはある。ツアーをやることによって笠間城を広く知ってもらえる。

委 員 : 時期はいつ頃を予定しているのか。

事務局 : 秋頃になると思うが、具体的な日程などは決まっていない。

事務局 : どちらにせよ、草が生い茂っていない時期を考えている。

委 員 : かさま音楽フェスタは事業終了になっているが、一般市民向けの音楽フェスタに変わるような、生の音楽を聴ける場はなくなるのか。

事務局 : 生涯学習としては実施はしない。
事業を終了した経緯としては、公民館や地域交流センターなどで音楽に触れる機会がだいぶあるため、市は終了とした。

委 員 : もっと積極的に、笠間公民館の大ホールを活用した生の芸術に触れる機

会を継続して行ってほしい。

委員 : 笠間市リーダーズクラブ定例会を毎月第1・3木曜日に開催しているがリーダーズクラブの会員数。また、どのように高校生を集めているのか市民の会でも、高校生大学生のユースチームを作っているが、コロナ禍になり、ユースチームに引き込めない。集め方を教えてもらいユースチームを活発にしたい。

および学校生活学習支援の中に、生活困窮状態にある世帯の中学生とその保護者とあるが、生活困窮世帯をどのように集めているのか。

事務局 : 学校生活学習支援は市の基準の要保護、準要保護世帯を対象に通知を配っている。現在は20人程度が参加。

親のニーズとしては、塾にはお金はかけられない、多くのケースは親が子供に行ってみたらと投げかけるケースが多い。また、子どもは土曜日に4時間の勉強をやるので、学習に対し持続力がない。そこを学習アドバイザーと大学生による1対1の個別指導と学習相談などを行うところが、塾との違いである。

笠間市リーダーズクラブは、どうにか活発にしたい。

募集方法は、チラシの配布。中学三年生の卒業シーズンに学校へ伺いリーダーズの活動内容を発表し、高校生になったらぜひ入会してください。など広報活動を行っている。また、笠間市ホームページなどへの掲載も行っている。また交流事業をした時、広報誌に掲載する。

現在の登録人数は、30人だが、高校3年生やOB、OGが多く高校2年生、1年生各2人ずつの4人で活動、危機的な状況である。

委員 : リーダーズの広報は、笠間市全中学校に行くのか。

事務局 : リーダーズの卒業校へ行くので、今回は友部中のみだった。

委員 : ボランティア的な感覚は、社会と繋がっていないと育たないので、社会活動に参加するのはなるべく早めにやっていただきたい。

委員 : 自然体験学習補助金は補助だけしているのか。

皆さんわかっていない人が多いのでは、どのくらいの補助金を出すのか

事務局 : 旧岩間の第一分校に武蔵野美術大の学生が夏休み期間に来て、市内の小

学生を対象とした図工教室を行っている。その活動に対し、10万円の補助をしている。コロナ禍のため3年間教室を行っていないため、その間は補助金の支出はなかった。

5 その他

委員：牧野貞喜没展が実施され、会場の展示の中に高崎こうさんの絵の展示があった。笠間町立美術館に展示されていた笠間の歴史絵の1点、全部で20点近くあったと思うが、全く活用されていない。笠間公民館にあった仏像も活用されていない。貴重な仏像なので、是非活用してほしい。仏像はすぐには難しいが、歴史絵はすぐ展示できると思う。笠間公民館の玄関の正面の部屋は、いつもシャッターが閉まっているので、予約が入らないときはそこに展示してほしい。市民に見てもらうのもよいので、考えてほしい。

委員：町立美術館の看板、平櫛田中先生が書いた看板もあるか。

委員：美術館にそのまま入っている。

委員：しまっておくのではなく、市民に触れるようにしてほしい。

委員：仏像は、箱田小学校から移動する考えはないのか。

事務局：今のところは、ない。

午後3時34分閉会